

中京病院初期臨床研修プログラム

産婦人科【全体】

中京病院初期臨床研修プログラム

産婦人科【選択】

本プログラムにおける研修目標（産婦人科 初期臨床研修：EPA 基盤型）

1. 総合目標（プログラム全体の目標）

異常子宮出血および子宮術後妊娠（子宮筋腫核出術後、帝王切開後、子宮形成術後など）の代表的症例を中心として、初期臨床研修医が女性のライフステージに応じた産婦人科診療を理解し、安全な診療を実践できる能力を修得することを目的とする。

研修期間を通じて、外来診療、救急診療、病棟管理、手術・分娩管理、多職種連携を経験し、上級医の監督下で任せられる診療業務（Entrustable Professional Activities：EPA）を段階的に拡大できることを目標とする。

特に以下の能力を養成する。

- ・ 異常子宮出血患者の全身状態を評価し、緊急度を判断できる。
- ・ 異常子宮出血の鑑別診断を整理し、適切な検査・初期治療を提案できる。
- ・ 子宮術後妊娠に伴う母体・胎児リスクを理解し、安全な妊娠管理に参加できる。
- ・ 帝王切開既往、子宮筋腫核出術後などの妊娠における周産期管理を理解できる。
- ・ 手術・分娩・周術期管理へ安全に参加し、患者説明やチーム医療を実践できる。
- ・ 女性患者の心理社会的背景を理解し、患者中心の医療を実践できる。
- ・ 多職種と協働し、退院支援・産後支援まで含めた包括的診療を経験する。
- ・ 危険徴候を認識し、適切なタイミングで上級医へ相談できる。

2. 到達目標

本研修終了時点で、研修医は以下を達成する。

- ① 異常子宮出血患者の問診・身体診察を実施し、緊急度を判断できる。
- ② バイタルサイン、貧血の程度、出血量を評価し、初期対応を提案できる。
- ③ 異常子宮出血の代表的な鑑別診断（PALM-COEIN 分類を含む）を説明できる。
- ④ 経腹・経膈超音波検査所見を理解し、子宮・付属器の基本的評価ができる。
- ⑤ 子宮術後妊娠患者について、既往手術内容を整理し、妊娠継続に伴うリスク（子宮破裂、前置胎盤、癒着胎盤等）を理解できる。
- ⑥ 子宮術後妊娠患者の病棟管理・周産期管理に参加し、母体・胎児評価を実施できる。
- ⑦ 帝王切開を含む周術期管理に参加し、安全管理の基本を実践できる。
- ⑧ 異常子宮出血や妊娠合併症に対する初期対応を行い、適切なタイミングで上級医へ相談できる。
- ⑨ 看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、MSW 等と協働し、チーム医療を実践できる。

- ⑩ 患者・家族へ病状や治療方針をわかりやすく説明し、退院・産後支援へ参加できる。

3. 研修期間別研修目標

【4週間】基礎：代表的疾患を安全に診療する（厚生労働省初期研修修了レベル）

異常子宮出血患者および子宮術後妊娠患者について、上級医の監督下（L3）で診療を行うことを目標とする。

- ・ 異常子宮出血患者の問診・身体診察・内診・超音波所見を整理できる。
- ・ 出血量・循環動態・貧血の程度を評価し、緊急度を判断できる。
- ・ PALM-COEIN 分類に基づき鑑別診断を整理できる。
- ・ 初期検査・治療方針を提案し、適切に上級医へ相談できる。
- ・ 子宮術後妊娠患者の既往歴を整理し、妊娠管理上のリスクを理解できる。
- ・ 病棟で母体・胎児評価に参加し、周産期管理の基本を理解する。
- ・ 帝王切開を含む手術・分娩管理に参加し、安全管理を実践できる。
- ・ 患者・家族への説明、多職種連携、退院支援へ参加できる。

【6週間】応用：代表的症例を主体的に管理する

4 週間到達目標を基盤として、典型症例について間接監督下（L3～L4）で診療を行える症例を増やす。

- ・ 異常子宮出血患者の診療計画を主体的に立案できる。
- ・ 貧血・感染・妊娠関連疾患を考慮した鑑別診断を整理できる。
- ・ 子宮術後妊娠患者について妊娠週数・既往術式を踏まえた管理方針を説明できる。
- ・ 母体・胎児の異常所見を早期に認識し相談できる。
- ・ 周術期管理・術後管理を主体的に実践できる。
- ・ カンファレンスで症例提示を行い、診療方針を説明できる。
- ・ 多職種連携を主体的に実践できる。

【8週間以上】発展：周産期診療を統合的に実践する

典型症例では条件付き自立（L4）を目標とし、安全管理を最優先とした産婦人科診療を実践する。

- ・ 異常子宮出血患者の初期診療を主体的に行える。
- ・ 重症出血患者の危険徴候を早期に認識し、初期対応・輸液・輸血準備・上級医への報告を迅速に実施できる。
- ・ 子宮術後妊娠患者の妊娠管理・分娩計画を理解し説明できる。
- ・ 周術期管理、病棟管理、退院支援を統合して実践できる。
- ・ 妊産婦救急においてチーム医療の一員として適切に行動できる。
- ・ 患者・家族との意思決定支援を実践できる。

- 後輩研修医への助言や振り返りを通して自己学習を継続できる。
-

4. 方略

1) 研修形態

本研修は、外来・救急外来・病棟・分娩室・手術室・カンファレンス・多職種連携を通じた実践型研修とする。

研修医は指導医の監督下で、異常子宮出血および子宮術後妊娠を中心とした代表的症例を担当し、初診から退院・産後フォローまで継続して経験する。

経験症例は研修期間に応じて段階的に Entrustment Level を引き上げる構成とする。

2) 外来・救急研修

(1) 外来診療・初期診療

外来・救急外来・時間外診療において、

- 問診
- 月経歴・妊娠歴・手術歴の確認
- 全身状態評価
- 腹部診察
- 内診
- 腔鏡診
- 経腹・経腔超音波所見の確認
- 妊娠反応の評価
- 緊急度判断
- 初期治療方針立案

を実践する。

研修初期は直接監督（L2）で実施し、経験症例の増加に応じて間接監督（L3）へ移行する。

重点的に経験する疾患は

- 異常子宮出血
- 子宮筋腫
- 子宮腺筋症
- 子宮内膜ポリープ
- 子宮内膜増殖症
- 子宮体癌・頸癌疑い
- 子宮術後妊娠
- 帝王切開後妊娠
- 子宮筋腫核出術後妊娠
- 切迫流産

- 切迫早産

とする。

(2) 産婦人科救急対応

異常子宮出血患者および妊婦救急を中心として、

- 循環動態評価
- ショック評価
- 輸液開始
- 輸血準備
- 止血処置の理解
- 緊急手術適応の理解
- 上級医への迅速報告

を経験する。

必要に応じて mini-CEX を用いた形成的評価を実施する。

3) 病棟研修

(1) 周産期管理

子宮術後妊娠患者を中心として、

術前・妊娠中

- 母体評価
- 胎児評価
- 妊娠経過の把握
- リスク評価
- 分娩計画の理解

術後・分娩後

- バイタル評価
- 子宮収縮
- 悪露
- 出血量評価
- 疼痛管理
- 創部評価
- 感染徴候
- 血栓症予防
- 母乳育児支援

を経験する。

病棟回診・カンファレンスでは SBAR を用いた報告を実践する。

4) 手術室・分娩室研修

手術室・分娩室では、安全な周術期・周産期管理を理解し、チーム医療の一員として行動することを目標とする。

以下を重点的に経験する。

(1) 手術室

- 手術前患者確認（タイムアウト）
- 清潔操作
- 手術体位
- 器械・術野の理解
- 手術進行の把握
- 麻酔管理の概要
- 周術期安全管理

研修期間に応じて、

- 手術見学
- 清潔野への参加
- 術野展開補助
- 吸引操作
- 縫合補助
- ドレッシング
- 手術終了時確認
- 術後指示確認

などを経験する。

対象となる主な手術は、

- 帝王切開術
- 子宮内容除去術
- 子宮鏡手術
- 腹腔鏡手術
- 開腹手術
- 子宮全摘術（見学中心）

とする。

(2) 分娩室

正常分娩および帝王切開症例を通して、

- 分娩進行の評価
- 胎児心拍モニタリングの理解

- 分娩介助見学
- 新生児蘇生の流れ
- 出血量評価
- 分娩後母体管理

を経験する。

特に子宮術後妊娠では、

- 子宮破裂徴候
- 分娩方法の選択
- 母児安全管理

について学ぶ。

5) 病棟・退院支援・産後支援

病棟では、

異常子宮出血患者および子宮術後妊娠患者を担当し、

異常子宮出血患者

- 貧血評価
- 出血量評価
- 薬物療法
- 輸血適応
- 手術適応
- 退院基準

を学ぶ。

子宮術後妊娠患者

- 母体管理
- 胎児管理
- 術後疼痛管理
- 授乳支援
- 産後合併症
- 血栓症予防
- 創部管理

を経験する。

また、

助産師

看護師

薬剤師

管理栄養士

MSW

地域連携室

と協働し、

- 退院支援
- 育児支援
- 授乳支援
- 家族支援
- 地域連携
- 産後フォロー

に参加する。

退院サマリー作成を通じて診療経過を整理する。

6) カンファレンス・振り返り

以下のカンファレンスへ参加する。

- 外来カンファレンス
- 病棟カンファレンス
- 周産期カンファレンス
- 手術カンファレンス
- 分娩カンファレンス
- 抄読会
- 症例検討会

研修医は担当症例について、

- 問題リスト
- 鑑別診断
- 検査結果
- 治療方針
- 妊娠管理計画
- 周術期リスク
- 退院支援

を簡潔に提示する。

また週1回程度、指導医との短時間面談を行い、

- 到達状況
- 改善点
- 次週目標

を確認する。

7) 学習支援・フィードバック

形成的評価として、

- mini-CEX
- DOPS
- EPA 評価
- 口頭フィードバック
- 振り返りシート

を活用する。

フィードバックでは、

- できている点
- 改善点
- 次回実践する具体的行動

を中心として行う。

研修医には担当症例について自己学習を行い、

- 日本産科婦人科学会診療ガイドライン
- 産婦人科診療ガイドライン
- UpToDate 等

を参考に診療へ反映することを求める。

8) 段階的 Entrustment

研修初期は、

- 見学
- 観察
- 模倣
- 直接監督下での診療

を中心とする。

その後、

- 典型症例への主体的対応
- 危険徴候の早期認識
- 適切な相談
- 患者説明
- チーム医療

が安定して行えることを目標に、

Entrustment Level を段階的に引き上げる。

特に、

- 「安全に診療できること」

- 「危険時には必ず相談できること」
- 「母児双方の安全を最優先に判断できること」

を本プログラムの到達目標とする。

5. 任せられるレベル（Entrustment Level：共通定義）

本プログラムでは、任せられるレベルを以下の4段階で設定する。

レベル1（L1）：観察・説明できる（見学、実施の流れを説明できる）

レベル2（L2）：直接監督下で実施できる（指導医が横で監督）

レベル3（L3）：間接監督下で実施できる

（近くに指導医がいて、必要時すぐ相談できる）

レベル4（L4）：条件付きで自立して実施できる

（事後報告中心、ただし対象・状況は限定）

6. EPAs 一覧

本研修では、異常子宮出血および子宮術後妊娠を中心として、以下の8つのEPAを設定する。

EPA 内容

EPA1 異常子宮出血患者を評価し、緊急度を判断して初期診療方針を立てる

EPA2 異常子宮出血患者の初期治療（止血・輸液・貧血評価）を安全に実施する

EPA3 子宮術後妊娠患者を評価し、母体・胎児リスクを整理して妊娠管理計画を提示する

EPA4 妊娠・術後・分娩後患者の病棟管理を行い、異常を早期に発見して初期対応・相談で
きる

EPA5 手術・分娩の周術期管理を理解し、安全なチーム医療を実践する

EPA6 経腹・経膈超音波検査を理解し、産婦人科診療に必要な所見を整理できる

EPA7 多職種と連携し、退院支援・産後支援・患者教育を実践できる

EPA8 女性患者・家族に対し、病状・治療・妊娠管理について適切な説明と意思決定支援を
行う

7. 研修期間別到達目標

EPA	4 週 到達目標	6 週 到達目標	8 週以上 到達目標
EPA1 異常子宮出血の初期評価	L3	L3～4	L4
EPA2 初期治療・止血・貧血評価	L3	L3～4	L4
EPA3 子宮術後妊娠管理	L2～3	L3	L3～4

EPA	4 週 到達目標	6 週 到達目標	8 週以上 到達目標
EPA4 病棟管理・異常対応	L2～3	L3	L3～4
EPA5 周術期・分娩管理	L2～3	L3	L3～4
EPA6 超音波評価	L2～3	L3	L3～4
EPA7 退院支援・産後支援	L2	L3	L3～4
EPA8 患者説明・意思決定支援	L2～3	L3	L3～4

8. EPA 別評価ルーブリック

EPA1

異常子宮出血患者を評価し、緊急度を判断して初期診療方針を立てる

レベル ル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 問診や診察の流れは説明できるが、出血量評価・循環動態評価・妊娠可能性の確認が不十分である。
- L2 指導医の直接監督下で問診・診察・内診・出血量評価を実施できる。鑑別診断や初期方針は助言を要する。
- L3 出血量、貧血、循環動態、妊娠反応を踏まえて緊急度を判断し、鑑別診断と初期治療方針を提案できる。危険徴候があれば速やかに報告できる。
- L4 典型例では主体的に診療できる。大量出血やショック徴候を早期に認識し、安全に対応・相談できる。

EPA2

異常子宮出血患者の初期治療（止血・輸液・貧血評価）を安全に実施する

レベル ル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 止血や輸液の目的は理解しているが、適応判断や優先順位が整理できない。
- L2 指導医の監督下で輸液・採血・止血治療を安全に実施できる。輸血適応の判断は助言を要する。
- L3 病態に応じた初期治療を提案でき、輸血準備や再評価を適切に実施できる。
- L4 典型例では主体的に対応し、治療効果を評価しながら必要時には迅速に上級医へ相談できる。

EPA3

子宮術後妊娠患者を評価し、母体・胎児リスクを整理して妊娠管理計画を提示する

レベル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 子宮手術既往の種類は説明できるが、妊娠への影響を整理できない。
 - L2 指導医の監督下で既往歴・妊娠経過・超音波所見を整理できる。
 - L3 子宮破裂、前置胎盤、癒着胎盤などのリスクを整理し、妊娠管理計画を提案できる。
 - L4 典型例では主体的に管理計画を立案し、分娩計画や周術期リスクまで説明できる。
-

EPA4

妊娠・術後・分娩後患者の病棟管理を行い、異常を早期に発見して初期対応・相談できる

レベル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 回診項目を理解しているが、異常所見を整理できない。
- L2 指導医の監督下で母体・胎児評価、創部・出血・疼痛評価を実施できる。
- L3 出血、感染、子宮復古不全などを意識して診療し、初期対応と報告ができる。
- L4 典型例では病棟管理を主体的に行い、予防的介入も提案できる。

EPA5

手術・分娩の周術期管理を理解し、安全なチーム医療を実践する

レベル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 手術・分娩の流れは説明できるが、術前準備や安全確認を十分理解できていない。
 - L2 指導医の直接監督下で術前確認、患者確認、タイムアウト、術後指示の理解と実践ができる。
 - L3 周術期管理の流れを理解し、自ら必要事項を確認して安全にチーム医療へ参加できる。SBARを用いた申し送りができる。
 - L4 典型症例では主体的に周術期管理へ参加し、安全確認を実践できる。異常時には迅速に報告・相談できる。
-

EPA6

経腹・経膈超音波検査を理解し、産婦人科診療に必要な所見を整理できる

レベル
ル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 超音波検査の目的は説明できるが、基本解剖や画像の理解が十分でない。
- L2 指導医の直接監督下で経腹・経腔超音波検査を実施し、子宮・内膜・付属器・胎児の基本構造を確認できる。
- L3 超音波所見を整理し、異常子宮出血や子宮術後妊娠に関連する異常所見を説明できる。結果を診療へ反映できる。
- L4 典型例では主体的に検査を実施し、所見を診療方針へ適切に反映できる。限界を理解し必要時には追加検査を提案できる。
-

EPA7

多職種と連携し、退院支援・産後支援・患者教育を実践できる

レベル
ル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 多職種の役割は説明できるが、カンファレンスでは受け身である。
- L2 指導医の監督下で退院支援や産後支援に参加し、必要な情報を共有できる。
- L3 看護師・助産師・薬剤師・MSW 等と情報共有し、患者・家族への説明や退院支援を実践できる。退院サマリーを適切に作成できる。
- L4 典型例では主体的に退院支援を調整し、多職種と連携して継続診療まで見据えた支援ができる。
-

EPA8

女性患者・家族に対し、病状・治療・妊娠管理について適切な説明と意思決定支援を行う

レベル
ル 行動の目安（観察ポイント）

- L1 病状説明の内容を理解しているが、自ら説明することは困難である。
- L2 指導医の補助のもとで病状や検査内容を説明できる。患者の不安への対応は助言を要する。
- L3 患者・家族の理解度を確認しながら、治療方針や妊娠管理についてわかりやすく説明できる。意思決定支援へ参加できる。
- L4 典型例では主体的に説明を行い、患者の価値観を尊重した共同意思決定（Shared Decision Making）を実践できる。

9. 初期臨床研修ガイドラインにおけるコンピテンシー（研修医評価表Ⅱ・Ⅲ）との対応表

EPA B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 C1 C2 C3 C4

EPA1	○	◎	◎	○	△	◎	○	△	○	◎	○	◎
EPA2	○	◎	◎	○	○	◎	△	△	○	○	◎	◎
EPA3	◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	○
EPA4	○	◎	◎	○	◎	◎	○	△	○		◎	◎
EPA5	○	○	◎	◎	◎	◎	△	△	○		◎	○
EPA6	○	◎	◎	△	○	○		◎	○	◎	○	○
EPA7	◎	○	○	◎	◎	○	◎	△	○	○	◎	◎
EPA8	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○	◎

凡例：◎=その EPA の中心評価項目／○=強く関係／△=一部関係

EPA 一覧

- EPA1 異常子宮出血患者を評価し、緊急度を判断して初期診療方針を立てる
- EPA2 異常子宮出血患者の初期治療（止血・輸液・貧血評価）を安全に実施する
- EPA3 子宮術後妊娠患者を評価し、母体・胎児リスクを整理して妊娠管理計画を提示する
- EPA4 妊娠・術後・分娩後患者の病棟管理を行い、異常を早期に発見して初期対応・相談できる
- EPA5 手術・分娩の周術期管理を理解し、安全なチーム医療を実践する
- EPA6 経腹・経膈超音波検査を理解し、産婦人科診療に必要な所見を整理できる
- EPA7 多職種と連携し、退院支援・産後支援・患者教育を実践できる
- EPA8 女性患者・家族に対し、病状・治療・妊娠管理について適切な説明と意思決定支援を行う

	B. 資質・能力（9 領域）	C. 基本的診療業務（4 領域）
1	医学・医療における倫理性	一般外来診療
2	医学知識と問題対応能力	病棟診療
3	診療技能と患者ケア	初期救急対応
4	コミュニケーション能力	地域医療
5	チーム医療の実践	
6	医療の質と安全の管理	
7	社会における医療の実践	

8	科学的探究	
9	生涯にわたって共に学ぶ姿勢	

10. 評価票Ⅱ（B）到達目標 × 産婦人科での観察ポイント

B：資質・能力 産婦人科で観察できる具体例

主 に対 応
する EPA

B1 倫理性

・女性患者のプライバシー・羞恥心に十分配慮した診療ができる・インフォームドコンセントを適切に実施できる・母児双方の安全を最優先に判断し、必要時には速やかに上級医へ相談できる

EPA3・7・8

B2 医学知識と問題対応能力

・異常子宮出血の鑑別診断を整理できる・子宮術後妊娠のリスク評価ができる・母体・胎児双方を考慮した診療計画を立案できる

EPA1・2・3・4

B3 診療技能と患者ケア

・問診、内診、腔鏡診、超音波所見を適切に評価できる・循環動態評価、出血量評価、病棟管理を安全に実施できる・周術期・周産期管理を適切に行える

EPA1・2・4・6

B4 コミュニケーション能力

・病状や妊娠管理について患者・家族へわかりやすく説明できる・助産師・看護師との申し送りを適切に行える・カンファレンスで要点を簡潔に報告できる

EPA5・7・8

B5 チーム医療の実践

・周産期チームの一員として診療へ参加できる・助産師、看護師、薬剤師、MSW 等と情報共有できる・退院支援・産後支援へ主体的に参加できる

EPA4・5・7・8

B6 医療の質と安全の管理

・大量出血、感染、子宮破裂などの危険徴候を認識できる・患者確認、タイムアウト、安全管理を実践できる・インシデント予防を意識して診療できる

EPA1・2・4・5

B7 社会における医療の実践

・育児支援や地域連携を理解できる・退院後の生活や外来フォローを考慮した支援ができる・患者背景に応じた医療資源を活用できる

EPA7・8

B8 科学的探究（EBM）

・産婦人科診療ガイドラインを活用できる・超音波や検査結果を根拠に診療方針を説明できる・最新のエビデンスを自己学習へ反映できる

EPA3・6

B9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

・フィードバックを診療へ反映できる・自己学習を継続できる・振り返りを行い、次の診療改善へつなげられる

全 EPA

付録1 EPA 総合評価表（ローテ終了時）

【研修医氏名】 _____

【研修期間】 4 週・6 週・8 週以上

【ローテ期間】 ____年____月____日 ～ ____年____月____日

【主担当指導医】 _____

EPA 項目

L1 L2 L3 L4 コメント

EPA1 異常子宮出血の初期評価・緊急度判断 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA2 止血・輸液・貧血評価・初期治療 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA3 子宮術後妊娠のリスク評価・妊娠管理 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA4 病棟管理・異常の早期発見・初期対応 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA5 手術・分娩周術期管理 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA6 経腹・経膈超音波評価 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA7 退院支援・産後支援・多職種連携 ☐ ☐ ☐ ☐

EPA8 患者説明・意思決定支援 ☐ ☐ ☐ ☐

総合所見

研修医振り返り

付録2 mini-CEX（EPA1・3・4・8）

産婦人科外来・病棟・救急評価表

【研修医氏名】 _____

【評価日】 ____年____月____日

【場面】

☐ 外来

☐ 病棟

☐ 救急

☐ 分娩室

【症例】

☐ 異常子宮出血

☐ 子宮術後妊娠

☐ その他（ ）

【評価者】 _____

評価

1：要改善

2：一部可

3：概ね可

4：良好

5：非常に良好

項目	1	2	3	4	5	コメント
----	---	---	---	---	---	------

問診・既往歴聴取	☐	☐	☐	☐	☐	
----------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

出血量・循環動態評価	☐	☐	☐	☐	☐	
------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

身体診察・内診	☐	☐	☐	☐	☐	
---------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

超音波所見の理解	☐	☐	☐	☐	☐	
----------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

鑑別診断・初期方針	☐	☐	☐	☐	☐	
-----------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

病棟管理・再評価	☐	☐	☐	☐	☐	
----------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

危険徴候の認識と報告	☐	☐	☐	☐	☐	
------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

患者・家族への説明	☐	☐	☐	☐	☐	
-----------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--

良かった点

次回の改善目標（1つ）

付録3 DOPS（経膈超音波検査）

（EPA6）

【研修医氏名】 _____

【評価日】 ____年 ____月 ____日

【評価者】 _____

【対象】

☐ 異常子宮出血

☐ 子宮術後妊娠

評価

1：不可

2：多くの介助が必要

3：一部介助で実施可能

4：概ね自立

5：非常に良好

項目	1	2	3	4	5	コメント
検査適応・禁忌を理解している	☐	☐	☐	☐	☐	
患者への説明・同意取得	☐	☐	☐	☐	☐	
プライバシー・羞恥心への配慮	☐	☐	☐	☐	☐	
プローブ操作	☐	☐	☐	☐	☐	
子宮・内膜・付属器を描出できる	☐	☐	☐	☐	☐	
術後子宮・妊娠所見を評価できる	☐	☐	☐	☐	☐	
所見を整理し報告できる	☐	☐	☐	☐	☐	

【任せられるレベル】

☐L1

☐L2

☐L3

☐L4

改善点

付録4 退院支援・サマリー評価表

(EPA7)

【研修医氏名】 _____

【評価日】 ____年 ____月 ____日

【評価者】 _____

【症例】

☐異常子宮出血

☐子宮術後妊娠

項目	達成	部分	未達成	コメント
病状説明ができる	☐	☐	☐	
退院後の生活指導	☐	☐	☐	
外来フォローを説明できる	☐	☐	☐	
助産師・看護師等と連携できる	☐	☐	☐	
退院サマリーが適切に記載されている	☐	☐	☐	

研修医向け EPAs チェックリスト

【研修医氏名】 _____

【研修期間】

☐ 4 週

☐ 6 週

☐ 8 週以上

【ローテ期間】

____年____月____日～____年____月____日

A ローテ開始時目標（3 つ）

① _____

② _____

③ _____

B EPAs セルフチェック

☐ EPA1 異常子宮出血患者の緊急度を評価した

☐ EPA2 止血・輸液・貧血評価を安全に行った

☐ EPA3 子宮術後妊娠のリスク評価を行った

☐ EPA4 病棟で母体・術後管理を行った

☐ EPA5 手術・分娩管理へ参加した

☐ EPA6 経腹・経膈超音波所見を整理した

☐ EPA7 退院支援・産後支援へ参加した

☐ EPA8 患者・家族へ病状説明を行った

C 週 1 回面談（10 分）

今週できたこと

今週の課題

次週の目標（1 つ）
